

平成 26 年度 事業 報 告 書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成 24 年 6 月特定非営利活動法人として設立されたこの会はミャンマーの村の人々を医療と菜園という 2 本立てでサポートすることにより生活基盤の充実と母子保健の向上に寄与することを目的にしている。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップの 5 つ村で事前調査を行い、実際の医療事情や、生活環境などをより明確に把握し、巡回診療（移動クリニック）に活用した。平成 27 年 1 月から巡回診療を開始し、3 月末までに延べ 1274 人の受診者を得、124 人の病人を関係医療施設へ搬送した。また、ヘルストークというバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓発活動を巡回診療の合間、及び週 1 回行う住民との話し合いで行い [ビレッジミーティング]、毎回約 30 人の参加者を得た。話す保健衛生の内容はデング熱の予防方法や結核の症状など多岐に渡り、住民に予防医学の大切さを理解する 1 役を担った。さらに必要な栄養素を失わない料理法の実演をし、住民へ実践してもらった。菜園に関して、巡回診療の合間に有機野菜の栽培などを推奨した。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを行なった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び数	事業費の金額 (千円)
国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1. 現地事前調査	平成 26 年 9 月 19 日 - 9 月 29 日	ミャンマーエーヤワディ州ミャウンミャタウンシップ	8 人	250 人	2680
	2. 活動報告会 (MFCG 主催イベントなど)	平成 26 年 11 月 29 日	JICA 東京ホール	約 20 人	約 30 人	36
		平成 27 年 3 月 28 日	文京シビックホール	約 20 人	約 60 人	
	3. 依頼講演 (支援者との交流会など)	平成 26 年 4 月 2 日	渋谷区桜が丘施設	1 人	約 20 人	19
平成 26 年 11 月 20 日 他計 15 回		荒川区福祉協議会ロータリークラブ	1 人	約 40 人		

	4.活動啓発活動（参加イベントなど）	平成26年10月19日 平成26年11月15日 平成27年7月12日 平成26年4月20日	増上寺（東京港区）ミャンマー祭り あらわか福祉まつり（荒川区） 埼玉成恵病院（埼玉東松山） 荒川東尾久会館	5人 1人 1人 約20人	不特定 不特定 約140人 約40人	3を含む
社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 巡回診療（移動クリニック）ならびにヘルストーク（保健衛生）啓発活動	平成27年1月28日～3月31日	ミャンマーエーヤワデオ州ミャウンミャタウンシップ	約4～6人	約1300人	6328
災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	実地しなかった					
食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 現地作物栽培の現状把握と有機栽培の推奨	平成27年1月28日～3月31日	ミャンマーエーヤワデオ州ミャウンミャタウンシップ	4人		497
生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出	1 支援している孤児院の所持している農地活用のための支援	平成26年11月～2月	同上	3人		270
(2) その他の事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)	

平成 26 年度 事業報告書(説明資料)

< 報告期間 >

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

事業の成果

1. 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

1, 医療事前調査を Myanmar Perfect Research 社の協力を得て 9 月 19 日から 29 日にかけてミャンマー、エーヤワディ州ミャウンミャタウンシップの 5 ヶ所の村で住民 250 人に実施いたしました。本調査は現状の医療環境および、病気、衛生、栄養に関する意識や行動を把握するために実施したもので、この調査結果をもとに巡回診療(移動クリニック)の診療の対象疾患の選定と対象とする村の選定をミャウンミャタウンシップ病院の院長、副院長の助言を得ながら行いました。

2, MFCG 主催の活動報告会を 11 月 29 日に JICA 東京ホールと 3 月 28 日に文京シビックホールで行い、約 30 人～60 人の参加者を得ました。

3, 講演の依頼が 15 回、ラジオ出演 1 回を果たしました。

4, ①イベントの参加として 10 月 19 日に東京港区で開催されたミャンマー祭り(主催ミャンマー祭り実行委員会 駐日ミャンマー大使館)マンダレー舞台で MFCG の活動予定を運営パートナー(5 名)でパフォーマンスしました。

② 11 月 15 日に 第 29 回あらかわ福祉まつりにパネルを出展しました。

③第 1 回 成恵会音楽部チャリティー演奏会を埼玉成恵病院(埼玉・東松山)にて開催し約 140 名の方が参加されました。

④ミャンマー人との交流会を 4 月 20 日に行い、ミャンマー人約 20 名と日本人約 20 名が参加し、お互いに文化、国政などについて意見交換を行いました。

2. 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

2014 年 12 月末にミャウンミャ事務所となる物件の賃貸契約を行い、修理が必要であったため内装修理に取り掛かりました。また、同時に現地スタッフの採用を開始し 1 月から 3 名を雇用

し、事務所開設および事業立ち上げを現地スタッフとともに行いました。巡回診療用の医薬品ならびに資材を買い付けのためミャウンミャとヤンゴンの間を数回往復しながらの準備となりましたが、お蔭様で1月28日から巡回診療（移動クリニック）を開始することができました。移動クリニックは対象となる12の村を2ヶ月半で一巡するペースとし、進めました。診療を受けるのは村の住民は季節移動労働者がほとんどのため女性が多く診療を待つ時間を利用して、手洗い方法や栄養のバランスの話「ヘルストーク」をして保健衛生啓発活動を頻回に行いました。なぜなら今までに彼らにはそのような知識を得る機会がなかったからです。また診察後、受診者に内服薬を手渡すときには、目の前で実際に内服して頂き、お母さんたちには薬剤の服用指導も併せて行いました。週のうち、毎週金曜の1日を村の各層の人びととの話し合いの場として、「ビレッジミーティング」を設けました。話し合いの目的は、村人の生活環境や健康ならびに、今、困っている事について質問を投げかけながら、感染症の予防や栄養改善のためのアドバイスもしています。移動クリニックを開始してみてビタミンB1不足による脚気が多いことが判明しました。脚気は死に至る病気です。その為、ビタミンB1不足を改善する方法として①主食の米の研ぎ回数を少なくする。②研ぎ汁を捨てないで飲んでもらう、ことを実践していくことにしました。住民に理解し納得してもらう為に、彼らの前で実際に米を研ぎ、炊飯して試食会の出門ステーションを行いました。その合間にもヘルストークを行い、なぜこのようなことが住民に必要なのかを理解してもらいました。このような活動は地道に広がっており、再度、村に移動クリニックを行ったときに、実践してくれている住民が約3分の1～2分の1います。これはMFCGの成果だと思います。1月開始から3月末までに延べ1274人の受診者を得、124人の患者を医療施設へご紹介しました。

また、国内事業として日本に住んでいるミャンマー人対象の無料健康相談会の開催を毎年2回開催し、今年度も11月と3月に、約40名の受診者を得ました。これにはミャンマー人のボランティアも毎回20名ほど参加し、日本とミャンマーとの交流を果たしました。

3. 災害その他の緊急事態に対する救援、復興支援および防災事業

支援の対象となる災害の発生がなかったため、本事業は行いませんでした。

4. 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業

移動クリニックの中と週1回行う「ビレッジミーティング」において、野菜を食べることの必要性がどのように理解されているのか、家庭菜園作りへの関心がどの程度あるのか、菜園を始めるにあつたての障害は何か、などを話し合いました。そこで得た結果からまずは家庭菜園作りから始めることを推奨しました。そして、話し合いから得られたことを次年度から開始するパイロット事業の策定に活かします。

5. 生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用算出事業

支援している孤児院の所持している農園の活用のために農地の現状を確認し、

アヒルなどの家畜の購入の方法についてのアドバイスなどを行った。

その他

広報・ファンドレイジング

- ・クラウドファンディングの **Ready for** というサイトを使い、巡回診療用の車代金を募集した。目標 150 万円を超える金額を獲得しました。
- ・ミタース通信 (MFCG 会報誌) を 10 月に 496 通発送しました。
- ・ブログ (ミタース便り) を 7 月から毎週 1 回発信開始しました。
- ・鎌倉朝日への寄稿を隔月で行い計 6 回連載しました
- ・アエライングリッシュ (2014 年秋・冬号) に掲載されました

平成 27 年度 事 業 計 画 書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業実施の方針：

平成 24 年 6 月特定非営利活動法人として設立されたこの会はミャンマーの村の人々を医療と菜園という 2 本立てでサポートすることにより生活基盤の充実と母子保健の向上に寄与することを目的にしている。平成 25 年度に、保健省と MOU (memorandum of Understanding) も締結した。平成 27 年 1 月末からミャウンミヤの現地で 12 の村を廻る巡回診療（移動クリニック）を開始し、手洗いなどの保健衛生啓発活動も行っている。平成 27 年にもこれを継続しつつ、これから各村の住民の中から 5 名ずつ選抜し、ヘルスエジュケーターという保健衛生指導員を育成していく予定である。平成 26 年には菜園に関し、特に病気を引き起こす栄養素の欠乏を予防するにはどうしたらよいかという観点から啓発活動と、料理法の実演も行った。今年度もこれを継続して、さらにこれに加え、他の団体と連携して有機栽培の知識を得る講習会と実践を各村で行う予定である。その他、ミャンマーと日本の交流を深め、かつ支援者の輪を拡大するために定期的な講演会やミャンマー人と日本人との親睦会などを開催する。また、日本に住んでいるミャンマー人の健康促進に寄与するために年 2 回ほど無料健康相談会を計画している。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び数	支出額 (千円)
(A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1 参加型スタディツアーの実施	2015 年 8 月 その他	ミャンマー エーヤワデー イ州ミャウンミヤ タウンシップ	7 人	10-15 人	1,630
	2 日本での報告会開催など	2-4 回・3 カ月毎	日本	10 人~15 人	30 人-60 人	772
	3 日本での依頼講演など	2-4 回・3 カ月毎	日本	1 人	20 人-40 人	10
	4 啓発活動	11 月 28 日、 29 日	増上寺 ミャンマー祭	10 人	約 4 万人	30
(B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 巡回診療（移動クリニック）および予防医学（保健衛生）啓発活動	2015 年 4 月以降（月 6 回・12 村/回）	ミャンマー エーヤワデー イ州ミャウンミヤ タウンシップ	4 人	ミャウンミヤ地域の選定した村の住民 80 人から 100 人/1 村、不特定	2248
	2 ヘルスエジュケーター（保健衛生員）の育成	2015 年 9 月 その他	同上	5 人	選定した各村から 5 人/1 村	1908

	3 ビレッジミーティング（現地の住民との課題解決会議）開催	4回/月	同上	4人	選定した各村から10人-30人/村	2770
	4 日本におけるミャンマー人対象の無料健康相談会	年2回	日本	各20人	ミャンマー人各40人/1回	89
(C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1 特発的に生じた災害に対しての調査・医療援助等					
(D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	2 菜園事業にかかる準備活動・他の団体との連携による講師派遣	2015年8月以降	ミャンマー エーヤワデー州 ミヤウンミヤ タウンシップ	6人	選定した各村から2~3人/村	707
	3 作物栽培・作物の栄養・調理法に関する教育活動	2015年8月以降	同上	5人	選定した村の住民30~40人/村	同上
(E) 生活向上をめざす人々が生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	特になし					

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
	無し				